

# 2023年度 法人事業方針

社会福祉法人 露の会 法人本部

## 1. 法人組織運営の点検と見直し

ふきのとうは開設から33年、ひのき工房は24年となりました。法人設立後の施設もころぼっくるが17年、とぶきふねんが8年、ぽぷら八王子が7年と経過し、それぞれの職員の皆さんの努力と利用者、八王子市をはじめ地域社会の皆様の御協力を得て、それぞれが素晴らしい特徴を持ち、障がいのある人たちやその家族にとってかけがえのない存在となりました。

一昨年9月で20周年の節目を過ぎた法人もようやく安定し、落ち着いてきたと言われる半面、現状に甘んじるマンネリ化の傾向もあります。そのため各施設を含めた法人全体として組織運営の見直しが必要な時期になったと思います。今年は今までなかなか出来なかった人事異動を含め大胆に点検し、刷新をはかります。

## 2. 各施設運営のみなおしと確立

### 1) ふきのとうの

- ①生活介護一本化で、今後どんな課題に力を入れ、そのために何を改善していくのか  
(例)高齢化、身体、脳機能等の健康維持増進のための活動
- ②若い利用者を募集し、利用率80%以上をめざす。  
(例)'23年70%、'24年75%

### 2) ひのき工房

- ①木工事業の将来展望、どんな製品作りに力を入れるのか、生産、売り上げの目標は
- ②クッキー受注先(お客様)の要望にどう応えていくのか、売り上げ目標は、原価率は
- ③今後の生活介護のあり方の再検討
- ④利用率85%の維持

### 3) ころぼっくる

- ① 放課後デイは、どんなことに力を入れ何を目指すのか
- ② 将来を担う若手スタッフの育成
- ③ 利用率100%

### 4) ぽぷら八王子

- ① 型替え要員の育成と定着
- ② 工場生産管理業務の分担で受注100%達成を維持する
- ③ メンバーの採用育成定着で利用率85%目標 '23年70%、'24年75%

### 5) とぶきふねん

「メンバー、スタッフが安心して働き続けられるために委託契約を毎年継続する」を最優先課題とし、皆が気持ちよく協力し合う仲間作りを進める。

そのために①5Sと安全第一 ②手選別資源化率の向上 ③有害、マットの適正処理 ④メンバーの健康維持等支援体制の確立に力を入れる

## 3. 新施設の開設

昨年度は、取り付け道路の件で開設出来ませんでした。解決すべき課題を一つずつクリアーして露の会の新しい地域貢献事業としても何としても開設を実現したいと思います。

## 4. 労働条件の改善

- ①物価高騰もありますので職員の皆さんの努力に少しでも応えるべく、平均で3%以上の改善

を目指します。

- ② 労働基準法の改定で4月から60時間以上の残業の割増率が50%にアップされることに  
対応して、露の会としては50時間を超えた残業について割増率を50%とします。それに対応  
し、50時間以内の残業は25%の割増率とします。
- ③ 昨年度実施したインフレ手当については、法人の財政状況を見ながら賞与でのインフレ手  
当(生活支援金)の支給を検討したいと思います。

## 5. 法人本部・施設長会の取組み

- ① 法人研修を充実させ、現状に合った支援レベルのアップを計ります。
- ② 第5回OJT報告会を実施し、年間を通しての新人教育に努めます。
- ③ 一人一人との対話を重視し、現場を担う施設長、主任、リーダーの課題をわかりやす  
く提示し、その育成に努めます。
- ④ 同一労働、同一賃金に対応したステージ表を完成し、賃金体系見直しに着手します。
- ⑤ インボイス制度、電子帳簿保存法(電子取引データの電子保存)等、法の順守に対応  
していきます。
- ⑥ 各施設・本部のホームページを更新・充実させ、新卒者の採用にも力を入れます。
- ⑦ 新施設会計の取組み

これらの課題を本部事務局と施設長会が一体となって取り組みます。